

事務事業評価資料

施策名	美しいまちづくりの推進			所管部局課名	県土整備部まちづくり局公園緑地課 21世紀の森室				
事業名	尼崎の森中央緑地植栽事業助成			担当者電話番号	21世紀の森係 内線4596				
事業目的	「尼崎21世紀の森構想」のリーディングプロジェクトである尼崎の森中央緑地の整備を推進するため、「瀬戸内オリーブ基金」からの寄附を活用し、植栽事業を行う。								
事業内容	尼崎の森中央緑地に植栽する苗木の育苗費用として、瀬戸内オリーブ基金からの寄附金を兵庫県園芸・公園協会の緑化基金へ積立てる。(標準事業費一本千円)			事業開始年度	平成18年度				
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 2,000千円		(0千円) 8,200千円		(0千円) 11,300千円			
	人件費	847千円	従事人員 0.1人	836千円	従事人員 0.1人	820千円	従事人員 0.1人		
	総コスト(+)	2,847千円	従事人員 0.1人	9,036千円	従事人員 0.1人	12,120千円	従事人員 0.1人		
事業の目標	尼崎の森中央緑地に植栽する約20万本のうち「瀬戸内オリーブ基金」を活用し、平成31年度までに約10万本を植栽する。			[目標設定理由] 尼崎の森中央緑地全体で約20万本を植栽する計画であるが、計画を効率的に達成するため、約10万本を基金を活用して植栽する。					
目標の達成度を示す指標(事業開始からの累計)	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	植栽本数(育苗中のものを含む)	100,000本	31年度	4,400本 (1千円)	7,400本 (1千円)	18,700本 (1千円)	4.4%	7.4%	18.7%
評価結果	必要性	・環境共生型のまちづくりを目指す「尼崎21世紀の森構想」のリーディングプロジェクトとして尼崎の森中央緑地の整備を進めており、緑豊かな自然環境を早期に創出するためにも、瀬戸内に緑を復活することを目的とした瀬戸内オリーブ基金を活用した育苗・植栽が必要である。							
	有効性	・瀬戸内オリーブ基金を有効活用し、植栽を実施することにより、県費のみで事業実施することに比べ植栽本数が増加しており、尼崎の森中央緑地の整備を早期に進めることができる。							
	効率性	・瀬戸内オリーブ基金を活用し、植栽を実施することにより中央緑地の整備を効率よく進める事ができる。							
	民間・市町との役割分担	・尼崎の森中央緑地の種子採取や植栽は市民団体によって行われるなど、多様な主体の参画と協働により推進されており、適切な役割分担がなされている。							
	受益と負担の適正化	・特定の受益者のために植栽を行うものではないため、受益者負担の原則になじまない。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
説明	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
	瀬戸内オリーブ基金からの寄附を受け入れることによって、尼崎の森中央緑地の整備が推進され、早期に事業効果を上げることができるため継続する。								